

巴川流域総合治水対策協議会 行動計画表（案）

▼：各施策メニューの当初目標

資料3-2

施策番号	対策メニュー	実施期間			機関 県：静岡県 市：静岡市	実施内容	進捗状況	スケジュール							行動計画策定に係る 課題・問題	今後の方針	
		短期 H31	中期 H40	長期				短期					中期	長期			
								H27	H28	H29	H30	H31	~H40	H41以降			
＜ハード対策＞ 洪水処理対策																	
1	巴川本川の流下断面拡大	●	●		県	巴川本川の河床を護岸に影響のない範囲で掘削し、断面の拡大を図り、流下断面を確保する。	検討中	検討								<ul style="list-style-type: none"> 橋梁への影響 仮設工の選定 予算の確保 	対策効果を見ながら、実施可能な掘削深を検討する。
2	既存遊水地の機能強化	●	●		県	既設遊水地（大内）の洪水調節機能の強化	検討中	検討								<ul style="list-style-type: none"> 洪水調節機能の強化が図れる施設計画の実現性の検討 	施設計画の検討と効果の検証を行い、関係機関と調整を図り、来年度中に実現性を判断する。
3	大谷川放水路の底張工	●	●		県	粗度を軽減し、放水路の流下能力を向上させる。	30%									<ul style="list-style-type: none"> 予算確保 隣接畑地の耕作者と工事中の迂回路の調整 	地元調整をし、事業進捗を図る。
4	堤防の高さ確保	●			県	巴川本川の堤防の一連区間の内、局所的に低い箇所を嵩上げし、洪水時の弱点を解消する。	検討中	現場調査								<ul style="list-style-type: none"> 堤防に適した土の確保 人家連担地区においては、工事中の迂回路の確保など 	<ul style="list-style-type: none"> 河口から麻機遊水地付近まで現場確認をし、当該箇所を抽出する。 人家連担地区における当該
5	麻機遊水地第2-1工区の整備推進	●	●		県	巴川本川の水位を下げるため、麻機遊水地第2-1工区（4エリア）の早期完成を目指す。	0% (用地取得率26.2%)									<ul style="list-style-type: none"> 残土処分地の確保 立石・豊地エリアに着手する際に地権者への説明・調整が必要。 加藤島エリアの掘削深の設定 予算確保 	<ul style="list-style-type: none"> H27年度中に立石・豊地エリアの地権者への説明をし、用地所得に着手。 流域水害対策計画に位置づけられた麻機遊水地整備のさらなる推進に向け、関係機関と調整する。
6	既設遊水地の維持管理	●			県	既設遊水地内の樹林化した箇所を伐採、掘削することで、貯水容量の確保・拡大を図る。	検討中	検討								<ul style="list-style-type: none"> 自然再生協議会における再生・保全管理部会の了承が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 現場調査を行い、伐採、掘削すべき樹林化した箇所を選定。
7	治水施設の維持管理	●			県	既存の治水施設（分流堰、逆流防止樋門）等の適正な維持管理を行う。	実施中									<ul style="list-style-type: none"> 永年的な予算確保 出水時の漂流物への対応 	出水時に備え、引き続き適正な維持管理を実施する。
8	市管理河川の改修事業の推進	●	●		市	巴川流域内の河川の改修を実施し、河川の流下能力の向上を図る。	実施中									—	引き続き、事業の円滑な推進を図る。

巴川流域総合治水対策協議会 行動計画表（案）

▼：各施策メニューの当初目標

施策番号	対策メニュー	実施期間			機関 県：静岡県 市：静岡市	実施内容	進捗状況	スケジュール							行動計画策定に係る 課題・問題	今後の方針		
		短期 H31	中期 H40	長期				短期					中期	長期				
								H27	H28	H29	H30	H31	～H40	H41以降				
＜ハード対策＞ 洪水処理対策																		
9-1	下水道（雨水きよ）の整備（城北排水区）		●		市	雨水幹線を設置し、唐瀬地区の下水道排水能力を上げる。	実施予定								設計	工事	—	引き続き、既定計画に基づき下水道（雨水きよ）の整備を推進する。
9-2	下水道（雨水きよ）の整備（大岩排水区）	●	●		市	雨水きよを設置し、大岩地区の下水道排水能力を上げる。	実施予定		工事						設計	工事	—	引き続き、既定計画に基づき下水道（雨水きよ）の整備を推進する。
9-3	下水道（雨水きよ）の整備（沓谷排水区）		●		市	雨水きよを設置し、瓦場地区の下水道排水能力を上げる。	70%		設計		工事						—	引き続き、既定計画に基づき下水道（雨水きよ）の整備を推進する。
9-4	下水道（雨水きよ）の整備（大谷川右岸排水区）	●	●		市	雨水きよを設置し、東静岡、小鹿及び豊田地区の下水道排水能力を上げる。	89%	設計	工事						設計	工事	鉄道事業者との調整	引き続き、既定計画に基づき下水道（雨水きよ）の整備を推進する。
9-5	下水道（排水ポンプ）の整備（瀬名新川排水区）		●	●	市	ゲートポンプを設置し、瀬名川地区の下水道排水能力を上げる。	検討予定								検討		事業認可区域外	中期実施期間中に認可を取得し、工事を実施するよう検討する。
9-6	下水道（排水ポンプ等）の整備（四方沢川排水区）		●		市	雨水ポンプ場及び雨水きよを設置し、長崎新田地区の下水道排水能力を上げる。	実施予定								設計	工事	—	既定計画に基づき下水道（排水ポンプ等）の整備を推進する。
9-7	下水道（排水ポンプ）の整備（巴川右岸第1川排水区）		●		市	雨水ポンプ場を設置し、北脇・能島・吉川地区の下水道排水能力を上げる。	実施予定								設計	工事	事業認可区域外 ポンプ場用地の確保	中期実施期間中に認可を取得し、工事を実施する。
9-8	下水道（雨水きよ）の整備（塩田川左岸第2排水区）		●	●	市	押切地区の河川流域が整合するように下水道排水系統の見直しをする。	検討予定								検討		事業認可区域外	中期実施期間中に認可を取得し、工事を実施するよう検討する。
9-9	下水道（排水ポンプ）の整備（巴川左岸第4排水区）	●	●		市	雨水ポンプ場を設置し、押切・石川新町地区の下水道排水能力を上げる。	0%	工事		設計					工事		—	既定計画に基づき下水道（排水ポンプ）の整備を推進する。
9-10	下水道（排水ポンプ）の整備（山原川右岸排水区）		●	●	市	高橋雨水ポンプ場に雨水ポンプを増設し、天王南地区の下水道排水能力を上げる。	検討予定								検討		事業認可区域外 放流協議	中期実施期間中に認可を取得し、工事を実施するよう検討する。
9-11	下水道（排水ポンプ）の整備（山原川左岸排水区）	●			市	雨水ポンプ場を設置し、高橋・飯田町地区の下水道排水能力を上げる。	0%		工事								—	既定計画に基づき下水道（排水ポンプ）の整備を推進する。
9-12	下水道（排水ポンプ等）の整備（巴川左岸第5排水区）		●		市	雨水ポンプ場及び雨水きよを設置し、永楽町・江尻台町地区の下水道排水能力を上げる。	実施予定								設計	工事	放流協議	既定計画に基づき下水道（排水ポンプ）の整備を推進する。

巴川流域総合治水対策協議会 行動計画表（案）

▼：各施策メニューの当初目標

施策番号	対策メニュー	実施期間			機関 県：静岡県 市：静岡市	実施内容	進捗状況	スケジュール							行動計画策定に係る 課題・問題	今後の方針								
		短期 H31	中期 H40	長期				短期			中期	長期												
								H27	H28	H29	H30	H31	～H40	H41以降										
＜ハード対策＞ 洪水処理対策																								
9-13	下水道（排水ポンプ等）の整備 （巴川右岸第2排水区）	●	●		市	雨水ポンプ場及び雨水幹線を設置し、川岸町・洪川地区の下水道排水能力を上げる。	実施予定								設計					工事		放流協議	既定計画に基づき下水道（排水ポンプ等）の整備を推進する。	
9-14	下水道（雨水きよ）の整備 （大沢川左岸第4排水区）		●	●	市	雨水きよを設置し、洪川地区の下水道排水能力を上げる。	検討予定															事業認可区域外	中期実施期間中に認可を取得し、工事を実施するよう検討する。	
9-15	下水道（雨水きよ）の整備 （江尻南部排水区）		●		市	雨水きよ及びゲートポンプを設置し、江尻町・銀座地区の下水道排水能力を上げる。	実施予定								設計						工事		—	既定計画に基づき下水道（雨水きよ）の整備を推進する。
9-16	下水道（雨水きよ）の整備 （入江排水区）	●	●		市	雨水幹線を設置し、追分地区の下水道排水能力を上げる。	実施予定																—	既定計画に基づき下水道（雨水幹線）の整備を推進する。
9-17	下水道（雨水きよ）の整備 （大沢川左岸第3排水区）		●	●	市	雨水きよを設置し、追分・大坪地区の下水道排水能力を上げる。	検討予定																事業認可区域外	中期実施期間中に認可を取得し、工事を実施するよう検討する。
9-18	下水道（雨水きよ等）の整備 （大沢排水区）		●		市	雨水幹線を設置し、桜ヶ丘・青葉地区の下水道排水能力を上げる。	実施予定								設計						工事		—	既定計画に基づき下水道（雨水幹線）の整備を推進する。
9-19	下水道（雨水きよ）の整備 （大沢川左岸第2排水区）		●	●	市	雨水きよを設置し、船原地区の下水道排水能力を上げる。	検討予定																事業認可区域外	中期実施期間中に認可を取得し、工事を実施するよう検討する。
9-20	下水道（雨水きよ）の整備 （谷津沢川排水区）		●	●	市	谷津沢川を改修し、馬走地区の下水道排水能力を上げる。	検討予定																事業認可区域外	中期実施期間中に認可を取得し、工事を実施するよう検討する。
9-21	下水道（排水ポンプ）の整備 （清水排水区）		●		市	ゲートポンプを設置し、幸町地区の下水道排水能力を上げる。	検討予定																	既定計画に基づき下水道（排水ポンプ）の整備を推進するよう検討する。

巴川流域総合治水対策協議会 行動計画表（案）

▼：各施策メニューの当初目標

施策番号	対策メニュー	実施期間			機関 県：静岡県 市：静岡市	実施内容	進捗状況	スケジュール							行動計画策定に係る課題・問題	今後の方針
		短期 H31	中期 H40	長期				短期			中期	長期				
								H27	H28	H29	H30	H31	～H40	H41以降		
<ハード対策> 流出抑制対策																
1	既定計画に基づく流域貯留浸透施設の整備	●	●		県・市	流域内に貯留浸透施設を整備し、河川への流出量を抑制する。	45%								<ul style="list-style-type: none"> 設置することを了承済となっている箇所が無い状態。候補箇所との協議が必要。 施設管理者と整備時期についての調整が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 候補箇所との協議を行う。 引き続き、既定計画に基づき貯留施設の整備を推進する。
2	新たな流域貯留浸透施設の整備	●	●	●	県・市	整備済み施設等における貯留容量追加等の検討	検討予定								既定計画において未設置の流域貯留浸透施設の整備を優先的に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 更なる整備が可能な公共施設の洗い出し 既存施設の機能強化（再整備）を検討
3	道路への雨水浸透柵等の設置	●	●		市	道路の集水柵を利用した雨水浸透施設を整備し、河川・下水道への流出量を抑制する。	検討予定								浸透効果が見込める箇所を選定	浸透効果が見込める箇所を選定し、流出量の抑制に向けた整備を進める。
4	森林整備による水源涵養機能の向上				県市森林所有者等	水源涵養機能の向上が図られるよう森林の適正な整備を推進する。	継続								—	引き続き、森林の適正な整備を推進する。
<ハード対策> 土砂流出対策																
1	巴川本川及び支川の維持浚渫	●	●	●	県	土砂堆積が著しい箇所の維持浚渫により河道断面の確保を行う。	実施中								<ul style="list-style-type: none"> 浚渫工法の選定 堆積状況の把握 	定期的な調査等により、適正な河道管理を行う。
2	小河川や排水路等の堆積土砂の排除	●	●	●	市	台風18号により堆積した土砂の排除	実施中								—	今後も、被災時には迅速に対応し早期の復旧をめざす。
3	砂防事業の推進	●			県	【土石流対策施設の整備】 巴川流域内にある土石流危険渓流について、砂防えん堤等の施設整備を進めている。	継続								—	採択要件、優先度等により他渓流についても事業を実施
		●	●	●	県	【グリーンベルトにおける協働】 清水大内地区において、土砂災害に強い砂防樹林帯（グリーンベルト）を育て守るため、NPO法人と「砂防サポートプログラム」の同意書を締結し、各種活動を実施している。	継続								—	今後も取組を継続する。

巴川流域総合治水対策協議会 行動計画表（案）

▼ :各施策メニューの当初目標

施策番号	対策メニュー	実施期間			機関 県：静岡県 市：静岡市	実施内容	進捗 状況	スケジュール							行動計画策定に係る 課題・問題	今後の方針		
		短期 H31	中期 H40	長期				短期					中期	長期				
								H27	H28	H29	H30	H31	~H40	H41以降				
<ソフト対策> 流出抑制対策																		
1	住宅への雨水浸透槽や雨水貯留タンクの設置の促進	●	●	●	市	申請者へチラシ、広告等による周知を徹底する。	実施中										-	-
2	開発業者等への流出抑制指導の継続	●	●	●	市	雨水浸透阻害行為に対する適切な流出抑制指示施設の適正な維持管理及び指導	実施中										-	引き続き、開発業者等へ流出抑制指導を実施していく
3	巴川流域遊水機能保全活動に対する支援の継続	●	●	●	市	指定区域内で、盛土・かさ上げ等を実施せずに、その形状及び遊水機能を保全する者に報償金を支出する。	実施中										-	巴川流域総合治水対策事業の完了まで継続
4	農地の多面的機能の発揮による遊水地域の保全				静岡県	農地の多面的機能の発揮による遊水地域の保全	継続										-	-

巴川流域総合治水対策協議会 行動計画表（案）

▼：各施策メニューの当初目標

施策番号	対策メニュー	実施期間			機関 県：静岡県 市：静岡市	実施内容	進捗状況	スケジュール							行動計画策定に係る 課題・問題	今後の方針
		短期 H31	中期 H40	長期				短期			中期	長期				
								H27	H28	H29	H30	H31	～H40	H41以降		
＜ソフト対策＞ 浸水被害軽減対策																
1	行政機関における防災体制の強化	●	●	●	県・市	災害時に備えて、タイムラインを策定する。	検討中								-	タイムライン策定に向けた作業を進める。
		●	●	●	県・市	民間気象会社からの降雨予測取得（豪雨パターンマッチング避難支援システム）	検討予定								豪雨の100%予測は不可能であり、今回の事業を試行で実施することによりどこまで予測の精度が上げられるかが課題である。	今年度の試験試行の結果を踏まえ、来年度以降の運用を検討する。
		●	●	●	県・市	・静岡土木⇄静岡市間のネットワーク構築（巴川情報管理システムの共用） ・ホットラインの開設	検討予定								・県と市が同じ情報（水位データ、映像等）を共有するシステムが必要。 ・現巴川システムの老朽化。	県市共有システムの試験施工を行う。
		●			県	水位計・監視カメラ等観測機器の空白域へ機器を設置し、県市連携して情報連携・警戒避難体制を強化する。	実施予定								・予算確保	・空白域を考慮した設置個所の検討を行い、必要な機器を設置する。
2	水防法に基づく巴川浸水想定区域図の見直し	●			県	公表済の浸水想定区域図について、対象洪水の変更による浸水区域の見直しを行う。	実施予定								・技術的知見の不足	・国土交通省等の動向を踏まえ、対象洪水の検討及び浸水想定区域の見直しを行う。
3	洪水・内水ハザードマップの周知・啓発	●	●	●	市	ハザードマップ配布、出前講座や市のHPおよび広報紙等を活用し、地元住民への周知を図る。	実施中								-	イベントにおけるハザードマップの配布や活用方法の説明に加え、新たに開設した市政出前講座により地元住民への周知を図る。
4	自主防災組織への支援による共助の強化	●	●	●	市	自主防災組織が購入する土嚢などに対し支援を行い共助の強化を図る。	実施中								-	今後も共助力を高めるため、自主防災組織に対する支援事業を進める。特に、河川付近の自主防災組織に対しては、土嚢袋などの備えについて啓発を行う
5	自助による減災行動につながる情報提供のあり方の検討	●	●	●	県・市	雨量や水位、過去の浸水実績等の情報を周知することで、減災行動を促す。	実施中								-	引き続き、広く出前講座を開催していくが、河川付近の自治会などに対しては、風水害に対する備えなどを講座の中に盛り込んでいく。
		●	●	●	県・市	県市連携の防災・治水出前講座や清掃活動等の実施	実施中								-	
6	コンパクトシティの推進	●	●	●	市	「立地適正化計画」による浸水リスクを考慮した都市（まち）づくりを検討する。	計画策定中								・都市機能誘導区域・居住誘導区域の設定 ・地域公共交通、公共施設再編、福祉・医療等の関係	H30に「立地適正化計画」策定、H31より運用